

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくりまします。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくりまします。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくりまします。

としがく

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

冬休みの行事としてすっかりおなじみの、「ゆめのキャラバン」によるおたのしみ会が、12月25日に行われました。毎年たのしみにして来てくれる常連も多く、去年よりちょっぴりおとなびたチビッコたちがどんな反応を示すか、キャラバン隊のおばさん・おねえさんたちもドキドキです。



『ゆめのキャラバン』隊の

冬休みお楽しみ会

なにが、はじまるかな？

プログラムの最初は、スライドを使った読みみかせ。スクリーンいっぱい絵を見つめる子どもたちの耳にお話を語るやさしい声が流れこんでいきます。

絵のない「おはなし」は想像をふくらませる世界。ゆらゆらするロウソクの光の中に、ふしぎな世界が広がります。

フェルト布に紙がはりつく、不

思議なパネルシアターは、あったかい「てぶくろ」のはなし。大きなてぶくろの中に、森の動物たちが何びきもすみつきます。

大型紙芝居は、小学生のおともだちがやりました。読む方も聞く方も無我夢中です。

絵本づくりは、ばらばらの絵がちらばっている一枚の紙から始まります。折り曲げて、セロテープで一つとめると、あら不思議。サンタさんが笑ったり泣いたり、四種類の絵が、めくるごとに現われます。

子どもたちが一番好きなのは、何といっても人形劇。舞台の人形たちと一緒に、みんなの顔も百面相です。こぶたや「まんまるパン」がピンチのとき、子どもたちは我を忘れて叫びます。「そっち行っちゃダメだよ」「こっちだよー！」。テレビや映画とはちがう何かが、やはり人形劇にはあるのです。劇が終わって明りがつくと、紅潮した顔の子どもたちは人形と握手をして、夢見るように帰っていきました。

冬休みおたのしみ会プログラム

午 前 の 部	よ み き か せ	お は な し	パネルシアター	絵 本 つ くり	人 形 劇
10:30～11:30	「ソメコとオニ」	「たからでぬい」	「てぶくろ」		「三びきの子ぶた」
午 後 の 部	よ み き か せ	お は な し	大型紙芝居	絵 本 つ くり	人 形 劇
1:30～2:30	「ソメコとオニ」	「あなのはなし」	「しなの五人きょうだい」		「まんまるパン」

『ゆめのキャラバン』とは？

子どもと本を結びつけるために、おはなし・人形劇などの分野で優れた技能をもつ市民の協力を得て、市立図書館が様々な施設に派遣するものです。「キャラバン」隊の催しを見ることで、より多くのおかあさま方が、そうした活動に関心をもち、活動してくださることを目的としています。

『個人文学全集』の紹介

日本文学②

今月も先月に引き続き、ふだん皆さんの目にあふることの少ない個人全集について紹介します。個人全集は、一般開架室のスペースの関係上、原則として一巻から三巻までを一般開架室に、四巻以降を地下の保存書庫に置いてあります。保存書庫にあるものについては、職員が持ちします。また、お読みになりたい作品が、全集の第何巻に入っているか調べたいときには、職員におたずね下さい。

全集名	所蔵巻数	出版社
佐々木邦全集	全10巻	講談社
坂口安吾選集	全12巻	講談社
佐多稲子全集	全18巻	講談社
椎名麟三全集	全23巻別巻1	冬樹社
志賀直哉全集	全15巻	岩波書店
司馬遼太郎全集	第1-32巻	文藝春秋
島尾敏男作品集	全5巻	晶文社
島木健作全集	全15巻	国書刊行会
島崎藤村全集	全13巻	筑摩書房
抱月全集	全8巻	日本図書センター
下村湖人全集	全10巻	国土社
庄野潤三全集	全10巻	講談社
神西清全集	全6巻	文治堂書店
高橋和巳全集	全20巻	河出書房新社
高見順全集	全20巻別巻1	勁草書房
高村光太郎全集	全18巻	筑摩書房
樗牛全集	全7巻	博文館

全集名	所蔵巻数	出版社
武田泰淳全集	全18巻別巻3	筑摩書房
太宰治全集	全12巻	筑摩書房
定本 太宰治全集	全12巻	筑摩書房
立原正秋全集	全24巻	角川書店
谷崎潤一郎文庫	全12巻	六興出版
檀一雄全集	全8巻	新潮社
逍遙選集	全12巻別巻5	春陽堂
立原道造全集	全6巻	角川書店
坪田譲治全集	全12巻	新潮社
寺田寅彦全集	全17巻	岩波書店
寺田寅彦全集	文学篇第6-18巻	岩波書店
豊島与志雄著作集	全6巻	未来社
荷風全集	全29巻	岩波書店
荷風全集	第1-5巻	春陽堂
荷風小説	全7巻	岩波書店
長塚節全集	全7巻別巻1	春陽堂
中野重治全集	全28巻	筑摩書房
中原中也全集	全5巻別巻1	角川書店
中村真一郎	全5巻	岩波書店
評論集成		
中山義秀全集	全9巻	新潮社
夏目漱石全集	全10巻別巻1	筑摩書房
漱石全集	全19巻	漱石全集刊行会
漱石全集	全17巻	岩波書店
漱石文学全集	全10巻別巻1	集英社
野上彌生子全集	全23巻別巻3	岩波書店
(第11期刊行中)		

返却期限を守りましょう

あなたは今、本を借りていますか。その本は、いつまでに返す本ですか。ぜひ分前に借りて、うっかり返し忘れていた本はありませんか。

図書館では、返却期限が過ぎていないのに返っていない本について利用者の方に督促をしています。電話やはがきで返してくださいと連絡を受けた方は、もう一度家の中を探してみてください。もし、図書館に本を返したのに、督促がいった時には調査いたしますのでお気軽に、職員におたずねくださるようお願いいたします。

リクエスト

図書館にきて目的の図書が見つからなかったことはありませんか。そんな時は、カウンターに備付けの予約(リクエスト)カードに書いて下さい。

貸出中の図書については、予約をかけて返却された時に連絡して貸出しています。同じ図書について複数のリクエストがある場合は受付順になります。

所蔵していない図書は、選定会議にかけて購入したり、相互貸借により他の公共図書館や国立国会図書館から借りることもできます。これらのことを「リクエスト(予約)」といいます。ぜひ、ご利用下さい。わからないことがありますしたら職員におたずね下さい。

巡回文庫

って何だろ？！

▽巡回文庫の本があるところは：

図書館では、市内に16ある公民館のうち、22ある公民館分館のうち

図書館から比較的距離の遠い12の分館に、下表のとおり、巡回文庫として図書を配本しています。

一度の割合で約半数の図書が新しくなっています。

▽利用方法は：

○巡回文庫は、公民館や分館の開館に合わせてご利用になれます。職員にお申出ください。

○借りる時には貸出券が必要です。初めてのの方は「貸出申込書」を書いていただければ、その館で作成します。なお、図書館や移動図書館で既に作った方は、その券をお使いください。

▽図書の入替えは：

中央公民館を除く25の配本所を5グループに分け、配本図書の入替えは、そのグループ内で順送りする方法をとっています。毎週木曜日（休館日を除く）行い、これにより各配本所では、約5週に

○本は1人5冊まで、2週間借

読書活動推進講座③

石垣りん氏

1月17日(日)詩人の石垣りん氏を迎えて、第3回読書活動推進講座を開催しました。

小さい頃から図書館に通い詩集などを読みあさったこと、15歳で日本興業銀行に就職し、少女雑誌に投稿したり、同人誌で文学に親しんでいたことなどを紹介されました。

これを詩作の初期とすれば、戦後の職場の組合での文化活動が次にあり、そして55歳で退職してか

ら現在に至る三つに、自分の履歴は分けられると話されました。

そして、戦後社会的関わりの中から書いた詩「花のことは」など五篇、退職後の歴史的な詩「略歴」など二十篇近くの自作を朗読し、各作品の背景、心情など逐一説明してくださり、詩作に関心のある受講者にとって大変有意義な時間となりました。

また、詩は自分自身の内面のリズムであり、思いの行列であり、

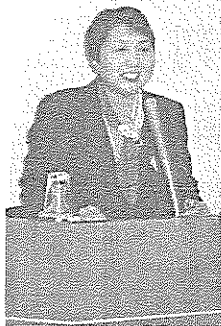
りられます。借りた本は必ずその公民館・分館に返してください。

○読みたい本の予約もできます。

なお、現在配本冊数の増冊を進めています。分館（東・錦を除く）は既に終了し、公民館も65年度まで順次増冊してまいります。

巡回文庫図書配本所一覧表

公民館・分館名	常時置いている図書数				1回当り入替冊数	本のある場所
	一般書	児童書	紙しばい	合計		
国本公民館	70	30	0	100	100	1階 講義室
藤井公民館	70	30	0	100	100	1階 図書談話室
富屋公民館	70	30	0	100	100	1階 講義室前廊下
東分館	100	0	0	100	100	1階 事務室前
西分館	100	0	0	100	100	1階 会議室
西公民館	200	200	40	500	500	1階 第1研修室
横川公民館	300	160	40	500	200	1階 玄関裏
瑞穂野公民館	300	160	40	500	200	2階 図書談話室
清原公民館	300	160	40	500	200	1階 //
平石公民館	300	160	40	500	200	// //
錦宮公民館分館	1,500	2,000	100	3,600	400	// 学習室
城山公民館	300	160	40	500	200	// 図書談話室
宝不分館	200	260	40	500	200	// //
豊郷公民館	300	160	40	500	200	// 事務室前
南公民館	250	30	20	300	300	// 図書談話室
陽東分館	500	0	0	500	200	// //
昭和分館	500	0	0	500	200	// 事務室奥
栗瀬分館	300	160	40	500	200	// 図書談話室
坂東分館	200	260	40	500	200	// //
睦分館	300	160	40	500	200	// //
東公民館	1,500	1,500	100	3,100	400	// //
高幸が原分館	300	160	40	500	200	// //
御幸分館	300	160	40	500	200	// //
栗が丘分館	300	160	40	500	200	// 講義室
北公民館	1,500	1,500	100	3,100	400	// 図書談話室
中央公民館	11,000	6,800	200	18,000	...	// 図書コーナー



点訳奉仕員養成講座終了

昨年6月10日から25回にわたり、「点訳グループあけぼの」に委託して行なってきた養成講座が、2月3日を以て終了いたしました。

講座には、同グループのメンバー約20人が協力してあたり、熱のこもった講義を行いました。受講生の方々も大変熱心で、当初の42名の申込者のうち、32名の方々が終了証を手に入れました。

中村氏からの寄贈

このたび宇都宮市一条四丁目にお住いの中村克巳氏から、日本切手名鑑全十巻（日本郵趣出版）、古典文学全集五巻（ポプラ社）、ジュニア版太平洋戦争史全六巻（集英社）など計四十五点（二十七万円相当）の資料が寄贈されました。

中村氏からは、以前にも戦史叢書全百二巻（朝雲新聞社）など二百七十七点（九十三万円相当）の資料を寄贈していただいております。

これらの資料は装備のうえ皆さの閲覧に供したいと思っておりますので、どうぞご利用下さい。

点訳の勉強は、地味な努力

が要求されるもので、例年約半数近くの方が途中でやめていかれることを考えると、受講生・講師双方の方々の熱意に頭が下がる思いです。さあ、ボランティア活動の始まりはこれからです。皆さんの出発に心から拍手を送りたいと思います。

日時 2月7日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 神宮輝夫氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「児童文学の中の子どもたち」

定員 120名

受付 1月29日(金)午前9時30分

から、電話か直接、市立図書館へ。

第2回「児童文学の中の子どもたち」

日時 2月14日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 黒井千次氏

場所 市立図書館

3階集会室

テーマ 「小説家の

随筆」

定員 120名

受付 2月5日(金)午前9時30分

から、電話か直接、市立図書館へ。

定員になり次第締め切ります。

第3回「児童文学の中の子どもたち」

日時 2月21日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 宇都宮大学助教授

関谷一郎氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「太宰治―作家の苦しさ・作品の愉しさ」

受付 2月12日(金)午前9時30分

から、電話か直接、市立図書館へ。

第4回「児童文学の中の子どもたち」

3月23日(水)～26日(土)まで、三階集

会室及び一階ロビーにおいて、次

の団体による発表会を行います。

参加団体は、宇都宮子どもの本連

絡会・宇都宮ずいひつの会・宇都

宮市読書会連合会・古文書を読む

会・点訳グループ「あけぼの」・

朗読グループ「あけぼ

の」です。ぜひ、ご覧

ください。

ニュース
コーナー

第3回「児童文学の中の子どもたち」

去る11月29日(日)、第3回目の

「知って得する図書館講座」が開

催されました。午前10時から午

後5時という長時間、10代から60

代までの17名が受講し、和気あい

あいとした雰囲気の中で終了しま

した。内容は、図書館の案内・

本の探し方・調べ方等で、演習問

題を前に、皆さん大変真剣にとり

くんでいました。

貸出状況

区分	62年12月	62年度累計 62/4～62/12
登録者数	476人	116,796人
貸出人		
館内	14,596人	157,018人
視聴覚	2,363	21,607
館外	2,555	28,599
計	19,514	207,224
貸出冊数		
館内	50,437冊	530,741冊
視聴覚	6,304	57,858
館外	11,227	122,106
計	62,298	710,705

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

12月の 館内 1日あたり 館外 1ステーションあたり

貸出人数 663人 32人

貸出冊数 2,293冊 142冊

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は

午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居

レコード・CD(コンパクトディスク)5枚

(ただしCDは2枚)

ビデオ・フィルム

あわせて15点まで

○講座の問い合わせ・申込み

電話または直接図書館へ

電話 (36) 0231

2月の休館日

日 月 火 水 木 金 土
 ① ② 3 4 5 6
 7 ⑧ 9 10 ⑪ 12 13
 14 ⑮ 16 17 18 19 20
 21 ⑲ 22 23 24 25 26 27
 28 ⑳

3月の休館日

日 月 火 水 木 金 土
 ① 2 3 4 5
 6 ⑦ 8 9 10 11 12
 13 ⑭ 15 16 17 18 19
 20 ⑰ ⑱ 22 23 24 25 26
 27 ⑳ 29 30 31

ボランティア製作

あたらしい本

点字図書
 △かぎりなくやさしい
 花々(水内須美子)△
 女の肖像(斎藤俊子)
 △彩の女①(前田たか
 子・斎藤俊子)△サラ
 ダ記念日(梶原ゆみ子)
 △少女探偵ジュディ
 (小島義則)

声の図書

△うめぼし博士の逆日本史(□)・(田中義子)△ふたつの太陽・よく死ぬことはよく生きることだ・民法おもしろ事典(藤田東子)△MADE IN JAPAN(青木桂子)△雪のアルバム(木村あい)△男どき女どき(樋口美代子)△女の学校(滝内美可)△畳下がりの恋人達(黒川敏子)△砂漠の思想(宇佐美怜子)△ゆたかさへの旅(横山嘉子)△雨ニモマケズ(石井武子)△銀河鉄道之夜(山本道枝)△ナポレオンはだめな黒ねこか(中臣五子)△おわらない祭り(半田秀枝)

寄贈

大森清寿「きのこNo2」。喜多幸子「かぎりなくやさしい花々」。戸谷治男「改訂現代登山全集全10巻」。斎藤勇「孤独なる追跡」。森正義「黒白」。石川明夫「徳川太平記」。船山孝一「武田信玄」。星野里子「子供!」。高田鈴子「真理子の青春日記&レター」。伊藤吉泰「新人間の証明」。栃木県立博物館「那須の遺跡」。他多数